

第五十回記念 白樺地区公民館杯 新春川柳大会（令和七年一月二十五日）



謝選（一般・会員） 鈴木廣志館長 選

世が変わり百才の壁祝い金
嫁ぐ娘に達者で暮らせと祝い唄
人生のふしめふしめに祝い有り
大そうじ昔なつかし記念品
記念品を忘れた妻は認知症
この答えちよつとおまけでまるを記す
元日に立てた目標何だっけ？
サギ事件新聞記事を解読し
記念する事あれこれあった亡夫との
五十過ぎ脂肪と疲労に取り付かれ
自由人風の糸切れどこへやら
年末に悪戦苦闘投句ムズ
巳年への脱皮誓いて奮起する
お決まりの祝辞は自慢でホラで締め
くたびれた背広に記憶しみついて
家族の愛余生至福の自由席
コノ財布底がないのかすぐモレル
雪がふるねことならめっこさびしいよ
また出たの？限界知らずの新記録
いつもだね貧乏くじを引く私
祝い酒乾杯前に飲む主人
願わくば器用さ母に似ていたい

後藤 信義
安部 洋一
船山千枝子
長沼 シゲ
加藤 秀夫
樋口 哲典
伊藤美代子
土田 達雄
長沼サツコ
若い衆
渡部 孝子
長沼千代子
長沼 良治
鈴木 孝
佐野 和市
伊藤 綾女
北原 実
佐藤 清美
山口 照美
高橋 賢治
樋口 友理
川崎てい子

選者選の部（一般・会員）

祝選 熊野昌昭教育長 選

秀 逸

“生き過ぎた”言いつつ喜ぶ祝米寿
入学祝い笑顔も添えてのし袋
祝い事あるたび財布覗き見て
運動会校内記録にお母さん
地球まで温度と雨量記録出す
五十過ぎ脂肪と疲労に取り付かれ
SNS一人歩きの選挙戦
宝船次は我が家の船着き場

五 客

感触で金額予想お年玉
“記憶なし”都合よい言葉にかくれんぼ
公約も当選後には記憶なし
トホホよりアハハで生きる老の道
依頼者の笑顔見たさに雪始末

三 光

人 嫁ぐ娘に達者で暮らせと祝唄
地 願わくば器用さ母に似ていたい
天 定年を祝う米寿の母がいた

ユーモア句

土曜日の祝日振替えなぜないの
コノ財布底がないのかすぐモレル

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|
| 渡部 孝子 | 伊藤 綾女 | 高橋 賢治 | 樋口 哲典 | 後藤 信義 | 若い衆 | 北原 実 | 鈴木 孝 | 伊藤美代子 | 渡部 孝子 | 鈴木 孝 | 北原 実 | 鈴木 孝 | 安部 洋一 | 川崎てい子 | 佐野 和市 | 山口 照美 | 北原 実 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|



副選 中川晴海 選（沼木ゆりかご川柳会）

秀 逸

初節句元気に育て鯉のよに
娘の華燭涙こらえる祝船
人生のふしめふしめに祝い有り
戦中の記憶が残る今もなお
賑わいの町は今では記憶だけ
家族の輪時は流れて今一人
修羅の道磨いた技はゆるがない
相応の趣味で豊かな余生組み

五 客

入学祝い笑顔も添えてのし袋
片言で身振り手ぶりのひこ愛し
日記帳今日も自分の素を描く
十年に一度が続く温暖化
依頼者の笑顔見たさに雪始末

三 光

人 さわやかな汗夕焼けにかんしゃする
地 十指では足りぬ孫ひこ祝い事
天 孫生まれ記念に植えた柿熟す

ユーモア句

年賀状初パソコンで自分宛
気に入らぬ話し補聴器OFFにする

主選 安藤邦子 選（長井川柳会）

秀 逸

“生き過ぎた”言いつつ喜ぶ祝米寿
デコピンと大谷ベビーで笑顔増す
イベントの成功祝い酌み交わす
娘の華燭涙こらえる祝船
公約も当選後には記憶なし

さわやかな汗夕焼けかんしゃする
トホホよりアハハで生きる老の道
巳年への脱皮近い手奮起する

五 客

十指では足りぬ孫ひこ祝い事
祝い酒立場によって変わる味
運動会校内記録にお母さん
くたびれた背広に記憶しみついて
新年の誓いを胸に走り出す

三 光

人 祝い帯目をひからせる鬼子母神
地 相応の趣味で豊かな余生組み
天 平和賞核廃絶をニホンから

ユーモア

感触で金額予想お年玉
カレンダー記をつけて又忘れ

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 渡部 孝子 | 伊藤美代子 | 鈴木 孝 | 伊藤 綾女 | 鈴木 孝 | 佐野 和市 | 北原 実 | 長沼 良治 | 川崎てい子 | 山口 照美 | 樋口 哲典 | 佐野 和市 | 伊藤美代子 | 佐野 和市 | 伊藤 綾女 | 加藤 秀夫 | 伊藤美代子 | 船山千枝子 |
|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|



小学生の部
海老名智樹校長選 低学年（一年生）三年生

佳句（八句）

まいにちの あかるいえがお うんをよぶ
ふゆ休み しゆくたいおおい がんばるぞ
はつスキー すべってころんで 大わらい
さむいふゆ こたつでまるく なるわたし
ねむくても あと一分で 明日になる
初もうで 明暗分かれる 運だめし
明るいな 起きたら外が 真っ白だ
りよう中 体ちようくずして ねてばかり

十秀（十句）

ふゆ休み あしたになるのが 早すぎる
明るくて おきた夏に もどりたい
ゆめのくに かえりみちは ゆめのなか
年明けて まい年かわる ぼくのゆめ
今年こそ 明るい話題 もってこい
はいくとは 考えすぎて でてこない
はじめての インフルエンザ つらかった
へび年は 明るい未来 きたいする
今年 ママは年オンナ かつこい
明るい日 明日もきつと いい日だよ

五客（五句）

大そうじ ぼくのおもちやが へっちゃった
ぼくのねこ なぜかいつも けんかごし
しんせきが 帰ったあとは なみだ目だ
ゲーセンに ママにないしよで パパと行く
お年玉 使うときには ママ相談

三光

人位（第三位）
うれしいな しぼさぶろうさん いっぱいだ
地 位（優秀）
ちよろからな 妹春には 一年生
天 位（最優秀）
かわいいひとみの おんなの子 わたしね

伊藤綾女選 高学年（四年生）六年生

佳句（八句）

お正月 笑顔になれる お年玉
大みそか 新年むかえる 夜0時
初日の出 明るい朝が やってくる
ごらいこう 体いつぼあい あびてみる
母親の 「なんとかなっぺ」 本当かな
3カ月 みんなとおもいで つくりたい
初詣で おみくじひいて ぼくは吉
なにごとも 明るくいこうよ 人生を

十秀（十句）

冬と夏 明るく長い 夏のほう
月明り おぼんちや空から 見ていてね
やんばいだ 芋煮にカレー粉 かます父
年明けに 明るい笑顔 ありがとう
祖父がつく つきたてのもち 日本一
第二小 明るいあいさつ めざしてます
お正月 明るい笑顔に 福きたる
ぼくの母 顔も名前も 明るいよ
明るくて 笑っているよ ひらける明日
がんばろう 赤いあいさつ 自分から

五客（五句）

SDGs 明るい未来を とどけよう
前を向け 明るい未来 待ってるよ
朝一番 明るくおはよう いい気分
戦争は 早くやめて てをつなぐ
きつとある 明るい未来 だれにでも

三光

人位（第三位）
明けまして 言える言葉が 平和だな
地 位（優秀）
能登地震 復興願って 希望待つ
天 位（最優秀）
あきらめない 明るい未来 待ってるよ

結果報告

☆会員互選（八名より）

一位 川崎てい子 (五十六点)
二位 鈴木孝 (四十四点)
三位 伊藤綾女 (三十四点)

☆一般・会員合同運者選（三名様により）

一位 鈴木孝 (十二点)
二位 佐野和希 (十二点)
三位 伊藤綾女 (十二点)

☆総合成績

一位 川崎てい子 (六十四点)
二位 鈴木孝 (五十二点)
三位 伊藤綾女 (四十四点)

☆一般成績

一位 安部 洋一 (八点)
二位 伊藤美代子 (六点)
三位 樋口 哲典 (五點)

しろつばき 冬まつり 川柳展示風景



向春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
久しぶりの大雪となった今年度ですが、皆様におかれまして除排雪の
作業に多くの労力を使われたのではないかと推察しております。
今年度、第五十回記念新春川柳大会を迎えることが出来ました。
それに伴い課題として小学生の部で「明」「自由」、大人の部では「祝」

「記」「自由」と設定された中、皆様より多くの川柳を寄せていただき
ました事に感謝申し上げます。選をお願い致しました安藤邦子先生、中
川晴海先生、飯豊町教育長、更に小学生の部では第二小学校海老名校長
先生、白樺川柳会代表の伊藤綾女さんの諸先生方によりお忙しい中選
句して戴き誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。後援
を戴いている白樺川柳会の皆様の計らいで一般の方々等からも多くの
投句を戴きました。今回は、川柳会の綾女さんより「川柳大会の歩み」
をお話していただきました。

これを機に今までの川柳会の思いを絶やさないために今後一層励
んで参りたいと考えております。
つきましては公民館事業に今後共にご理解ご協力の程宜しくお願
い申し上げます。
白樺地区公民館 鈴木廣志



四年 高橋 叶夢

六年 樋口 果子

五年 川崎 結菜

